

緑化だより

No.150 令和元年6月号



スイカズラ

- 季節の花(エゴノキ)
- 昆虫の話(木陰の飛行士)
- 小さな世界こけ(身近なコケ(5))
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ひろしま 緑化の森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>

E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

エゴノキ

「息の緒に 思へる我れを 山ぢさの 花にか君が うつろいぬらむ」

作者未詳

万葉集 巻7:1360

これを訳しますと

(命がけで思っている私なのに あなたは 山ぢさの花のようですね。もう気持ちが心変りしたのですか?)

エゴノキの古名は「チサ(知佐)」です。江戸時代の宝永6(1709)年に書かれた貝原益軒の「大和本草」にチサが初めて出てきます。チサの花は純白で美しい。しかし花の盛りは短くて、すぐに茶色に変わってしまいます。花の移ろいや、チサにかけて、男の心変りを激しく嘆いています。また「息の緒」とは「苦しきのあまり、どうしていいかわからないほどの命の極限状態」にある純情な女性の気持ちを詠っています。

「エゴノキ」はエゴノキ科の落葉樹で、あまり大きくなり、10mまでです。北海道、本州、四国、九州、琉球列島の雑木林に多く自生しています。南方では葉が大きくなり、沖縄では「これ何の木?」と思う程です。国外では、朝鮮半島、中国大陸まで分布しています。初夏、6月になると合弁花で先端が5裂した白い花が下向きに垂れ下がって咲きます。落花すると木の下は雪を敷きつめたように一面真っ白で美しいです。その後、白緑色の小さな果実がびっしりと下がり付きます。果皮はエゴサポニンが含まれていて、かじると「エゴイ、エグイ」味で喉を刺激する感じがすることからエゴノキの和名がつけました。しかし、果実はかなり毒性が強いので、決して口に入れないでください。現在は禁止されていますが、以前は果実を砕いて川に流して魚を捕りました。



エゴノキの花



エゴノキの実

また、別名セッケンノキとも言われています。これは果皮に界面活性作用があるため、泡立ちがよく、この果皮をすりつぶして水に入れてふると、白濁して泡立ち、石鹼水となり石鹼の代用になりました。材は緻密で器具材、建築材に使用されています。

エゴノキは昔から人々の生活と深くかかわっており、縄文時代の遺跡から種子が発掘されています。(上村)

昆虫の話

木陰の飛行士・クロスジギンヤンマ

新緑の季節、水辺には様々なトンボたちが姿を現します。

この時期、最も大きく、速く、目立つトンボが、クロスジギンヤンマです。とても大きなトンボで、胸は緑色で黒い筋が入り、お腹は黒くてオスなら青、メスなら緑の斑模様が入ります。緑化センターや森林公園の周りでも多く見られ、木陰がある小さな池を好みます。これは開けた大きな池を好み、平地で見られるギンヤンマとは対照的です。

クロスジギンヤンマを含むヤンマのなかまは、非常に速いスピードで飛ぶことができ、空中で他の虫を捕まえて食べます。とても機動性が高くて方向転換も急停止も自由自在。木々の合間を縫うように飛びまわると、小さなハエや大きなハチも器用に捕らえて食べてしまいます。あまりに素早いので捕まえる時は一苦労です。捕虫網をふるっても見事にかわして逃げてしまいます。



クロスジギンヤンマ

山の中にある池で観察をしていると、クロスジギンヤンマが池の上を飛んでいるのがよく見られます。これは多くの場合オスで、縄張りのパトロールをしつつ、メスが飛んでくるのを待ち構えています。縄張りに他のオスが侵入した時には追い払い、時に激しい空中戦を繰り広げます。交尾後はメスが単独で、水草や水に落ちた枝に卵を産みます。卵から孵ったヤゴは他の水生昆虫やオタマジャクシ、小魚を食べて13回脱皮し、数年かけて成虫になります。時にスイレン鉢やベランダに置いた水槽でも発生し、メダカを食べつくしたりもします。成長したヤゴは水際の草や木に登ると最後の脱皮を行い成虫になります。



孵化の様子

これからの時期、成虫が飛び交う姿や木についた抜け殻を、木々に囲まれた水辺で高い確率で見ることができます。

ぜひ観察してみてください。(市森林公園こんちゅう館 逸見)

小さな世界 こけ

身近なコケ(5)

陽あたりの良いグラウンドなどで、ユミダイゴケが見られます。高さ2~5mmと小さく、葉は黄緑色で細く、目立たないコケですが、胞子体があればすぐわかります。

蒴の形は他のコケにはないユニークな形をしています。胞子体は1.0~1.5cmで、蒴の首は弓のように緩くカーブし、蒴の下の方のみはだんだん細くなり、緩やかに蒴柄につながっています。

ウマスギゴケはやや明るい日陰を好みます。今の時期、雄株は雄花盤を、雌株は胞子体をつけています。雄花盤は造精器の集まりで星のような形をしています。雌株の蒴は、はじめ毛におおわれていますが、成熟すると毛におおわれた帽子は取れ、胞子を放出します。

ウマスギゴケの蒴のつけ根は大きくくびれています。(山根)



蒴をつけたユミダイゴケ



ユミダイゴケ
蒴の拡大



ウマスギゴケの雄花盤



ウマスギゴケの蒴の拡大

研修会のご案内

- 6月 7日(金)『常緑樹の剪定講座』
常緑樹の春の手入れを学ぼう
※ 要予約(キャンセル待ち), 無料, 剪定鋏・手鋸持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師: NPO 法人 樹木医ひろしま 工藤 徹
- 6月 12日(水)『6月の自然探勝』
～若葉の香り～
※ 自由参加, 無料, ルーペ持参
10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師: NHK 広島文化センター アシスタント 上村 恭子
- 6月 23日(日)『梅雨のきのこ入門観察会』
講師と一緒に園内を散策し、発生しているキノコを観察します
※ 要予約(キャンセル待ち), 無料
10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章
- 6月 26日(水)『樹木講座～落葉樹編～』
室内で実物の枝葉を観察して学び、識別テストに挑戦
※ 自由参加, 無料, ルーペ持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 森林植物研究家 埴田 宏

◎ 展示会

場所: 学習展示館

- ・緑化センター 季節の花写真展 ～ 6月30日(日)
- ・コケ 写真展 ～ 6月30日(日)

場所: レストハウス
(ボード展示)

- ・第5回 ひろしま遊学の森
子ども写生大会作品展 6月1日(土)～7月7日(日)
- (ガラスケース展示)
- ・トール&デコラティブペインティング
「メリー・ルーの仲間たち」展
6月1日(土)～7月14日(日)



第5回 子ども写生大会
小学生の部 最優秀賞作品

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

「メリー・ルーの仲間たち」展より

第18回 ひろしま「山の日」県民の集い

6月2日(日) 10:00~15:00 (レストハウス前 他)

山の手入れ, ネイチャーゲーム, 木工クラフト, 折り紙ヒコーキ飛ばし,
ノルディック・ウォーク体験会, 木のぼり体験, 丸太切り体験, 草花販売 他

第18回 ひろしま 山の日 県民の集い
NPO 法人 樹木医ひろしま
広島県緑化センター会場
令和元年 6月2日(日) 10:00~15:00
メイン会場: レストハウス前 開会式 10:00~

山の手入れ 10:30~12:00 ※ レストハウス前集合 ※ 20名(一組限定) ※ 虫歯, 歯垢, 歯肉, 歯の痛み, 歯の抜け, 歯の黒ずみ, 歯の黄ばみ, 歯の白くさけ	木工クラフトにチャレンジ 10:30~14:30 特別費 100円 ※ レストハウス前
森を守ろう。除菌伐 10:30~12:00 ※ 園内広域開催中 ※ 可成りグリーンアップの少年団	折り紙ヒコーキ飛ばし 10:30~14:30 ※ 園内広域開催中 ※ 園内広域開催中
丸太切りに挑戦しよう 10:30~14:30 ※ レストハウス前	木のぼり体験 10:30~14:30 ※ 多岐野緑化センター ※ 園内広域開催中 ※ 園内広域開催中
モーリススタンプラリー 10:30~14:30 ※ レストハウス前集合 ※ 園内広域開催中 ※ 園内広域開催中	草花販売 10:30~14:30 ※ レストハウス前
ノルディック・ウォーク体験会 11:00~12:30(10:30受付開始) ※ レストハウス前集合 ※ 要予約 締め切り 5/31	